

明治・大正・昭和期の
建設工事写真シリーズ

磐田の玄関口 132年の歴史

『磐田の記録写真集転載』



明治22年(1889)に中泉停車場が開通

当時はまだ駅舎はなく、ホームと踏切の番小屋だけあり、回りに何も存在しなかった。



大正2年 駅舎の改築

明治35年(1902)の鉄道料金は、袋井-中泉間が8銭、中泉-天竜川間が7銭でした。



昭和5年(1930)頃の中泉駅前

向かって左の2棟が旅館「友愛館」、中央がレストラン「シャッキョウ」、右が秋葉自動車運輸商会中泉出張所。

昭和32年(1957)に完成した“三代目”の駅舎



明治22年、中泉駅として、官設鉄道 静岡 - 浜松間開通時に開業。
当時は、駅舎が現在よりもやや西にあったとされている。
昭和17年10月10日、磐田駅に改称。
平成12年に“四代目”となる現在の駅舎が完成しました。



現在のJR磐田駅



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

※ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集!

掲載の方には
2,000円分の
図書カード
進呈!



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION
(一社)袋井建設業協会



鈴木 和男 袋井建設業協会長

対談

磐田市 市長 草地 博昭 氏 袋井建設業協会 会長 鈴木 和男 氏



草地 博昭 磐田市市長

2021年4月、静岡県内で現職最年少となる39歳での市長職就任となった草地博昭市長。「安心できるまち、人が集まる磐田市へ」をスローガンに掲げ、コロナ禍の困難な状況下で市政の舵取りを担っておられます。当協会では市長のまちづくりにかける思いや建設業との協力体制などについてご意見を伺うべく、草地市長と鈴木和男会長、永井智克之副会長、松下進一広報委員長らとの対談を10月7日に行いました。

市長ご就任から約半年が経過いたしました。コロナ禍の困難な状況下でのご就任となりましたが、改めて市政に臨む上での抱負についてお聞かせください。

「草地博昭市長（以下市長）」

市政においては私の目標は「安心できるまち、人が集まる磐田市へ」です。私の父は家電販売店を営んでいましたが、いわゆる「まちの電気屋さん」で、お客さんの家族構成や家電の配置などをよく把握していたものです。電話一本で人の暮らしをより良くしていく様子を見て、子どもながらに誇らしく感じていました。そのような信頼できる人が多く集まって、安心できるまち、磐田市が形作られる。私は電化製品でなく行政という手段で、人の暮らしをより良く変えていくことに挑戦したい。そんな気持ちでいます。

学生時代には環境問題に強い興味を持ち土木工学を学んだこともあって、次の世代にしっかりとしたインフラを残していきたいという思いを強く持っています。土木構造物は作って終わるものではなく、むしろそこからがスタート。土木構造物の整備計画は環境問題とも密接に関係しますし、いま注目されるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた活動にも通じるころが多いと考えています。

しかし、就任後のこの半年間はほとんど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策への対応を余儀なくされました。未だ予算許

ようご配慮をお願いします。

また、建設業の人材確保に向けては「4週8休」の実現が必須だと痛感しております。事務所は休日でも現場は休めない、日給で働く人にどう収入を確保してもらうか、など課題も少なくないのですが、経費に補正係数を掛けるという対策もあると聞きます。新入社員を募集する際に休日の確保は大きく重視される要素となっており、就業体制の改善に向けた取り組みにご支援をいただきたいと思っています。

賃金の改善という点では、国土強靱化の5年間で製造業の平均賃金との格差を埋めるよう努力を、という国交相の指示もありました。業界でも鋭意努力しているところと

生産性向上に関しては、提出書類の簡略化への協力をお願いしたい。コロナ禍のリモートワーク普及に伴って「脱ハンコ」が取り沙汰されたこともありましたが、押印の省略によるデジタル化や提出書類の圧縮化により、働き方改革をより実現しやすい状況となることにご理解をいただければと思います。

増加・甚大化する自然災害に関してはいかがですか。

「市長」 昨今の大規模災害を見るに、初動の対応にはどうしても地元建設業者の皆さんの協力が求められ、その存在意義が極めて重要であると実感します。熱海市

しませんが、10月ごろから少しずつ動きがとれるようになってきたところです。

2022年度の予算編成に向けた方針についてお聞かせください。

「市長」

インフラに関する基本的な姿勢はこれまでと大きく変わることはありません。ただスピードアップは心掛けていきます。

防潮堤整備事業では完成時期を当初計画より7年早め、26年としました。新たな搬入路の増設と豊浜地区の一部での着工前倒し、静岡県との連携促進などにより、「静岡モデル」防潮堤の整備完了に向けスピードアップを図ります。

また、市内で注目される大型事業についても、磐田市文化会館「かたりあ」の新設や磐田市民文化会館跡地の活用、ながふじ学府一校に続く小中一校の整備などを肅々と進めていく予定です。

今後は老朽化が進行する上下水道管をはじめとするインフラの維持管理に相当の費用が求められます。将来のリスクを見定めつつ、必要な部分に思い切つて予算をかけていくよう、適切に判断していきたい。施設の維持管理でもそれは同じで、スポーツ施設や公園、本庁舎や支所などのメンテナンスについても検討を進めます。

で発生した盛土崩壊による土砂災害でもそれは痛感したところであり、建設業者の皆さんにかける期待はとても大きいものだと理解しています。

「会長」

地震や台風などの自然災害に加えて、家畜伝染病の発生時にも建設業の活躍が求められています。静岡県と当協会との協定により、殺処分した家畜の埋設などの作業を迅速に行うため、県が実施する訓練に参加するなど準備を行っています。

協会側から市に期待することは他にありますか。

「永井副会長」

コロナ禍で非常に辛い思いをした若い世代のことを心配しています。市政の取り組みの中で、何らかの支援、還元をしてあげてほしい。憩いの場づくりなど、検討していただきたいと思っています。

「松下広報委員長」

他県の災害発生時の対応について見学してきましたが、自治体間での広域連携がスムーズに行われることでその後の復旧スピードが格段に向上することを実感しました。中東遠地域でもそのような連携が円滑に行われることを期待します。



対談の様子

鈴木会長、地域の建設業者が抱える課題や市に期待することなどについてお話しください。

「鈴木会長（以下会長）」

いま建設業界では省力化や生産性向上のため、ICTを活用した施工の拡大に取り組んでいます。最先端のICT建機などは通常重機の倍ほどのコストが必要となり、導入済みの専門業者に委託するなどして対処しています。一方で電子黒板や3D測量機器など、専門でない業者がICT関連設備を導入することもあり、全体で業界のICT化が推進されていく。こうした部分のコストについても、発注者のお立場として設計書の中に織り込んでいただける

最後に、市長から地元建設業に期待されることを挙げていただけますか。

「市長」

最初に挙げたように「安心できるまち、人が集まる磐田市へ」の実現に向け、建設業の皆さんの協力が不可欠です。特にインフラの維持管理については、今年和歌山県での水管橋破損の事例もありましたが、既設のインフラがもはや「あつて当たり前」の設備とは考えられないことだと痛感させられるものでした。「安心できるまち」の基本として、これまで以上に効率的な仕事の進め方を求めつつ、建設業の皆さんと行政との連携をより緊密で円滑なものとしていきたいです。原点はいつも「対話」にあると考えていますので、これからも皆さんとの「対話」の機会をつくっていききたいと思っています。ありがとうございました。



左から委員長、会長、副会長

建設STATION

炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場 古民家セルフグランピング ジ・グランマ



明ヶ島キャンプ場は、昭和53年に掛川市が整備した公共施設でありましたが、過疎化等の影響により平成26年度から閉鎖されていました。地元や掛川市の意向を受け、平成27年7月に株式会社山田が新たな施設管理者となり、「穏やかなことを学ぶ」をテーマに平成29年4月「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」としてリニューアルオープンしました。

今回紹介する「古民家セルフグランピング ジ・グランマ」は、当キャンプ場敷地内(管理地)に放置されていた築100年近い古民家をリノベーションし、宿泊施設として整備した建物で、この夏供用を開始しました。



SUMIYAKI NO MORI MYOUGAJIMA CAMP SITE

炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場

〒436-0337 静岡県掛川市炭焼33-2 TEL.0537-25-2507

※新東名「森掛川IC」より車で約30分 ※森町ルートは道が狭くお勧めしません。

管理者
株式会社 山田

TEL0537-26-0201
(平日8:00-17:00)

炭焼の杜 キャンプ場 検索

www.bt-r.jp/smc

工事概要	構造・規模	木造平屋【ロフト・ウッドデッキ有】、延床面積 104㎡			
	工期	令和2年12月～(継続中・追加設備工等有)			
	施設内容	・和室6畳(エアコン付き)・リビング12畳・ロフト11畳・キッチンスペース10畳・土間10畳 ・リバーサイドウッドデッキ15畳 定員15名			
	デザイン・PR	(株)マツヤマ・デザイン Photographer zeki			
	施工	解体・建築 (株)山田 資材 オールスタッフ(株)	電気設備 (有)佐藤電気工業社 他 キャンプのなかま達	塗装 (株)伊東塗装店	給排水 マツイ健設



静岡県御前崎港管理事務所 新庁舎



御前崎港管理事務所の旧庁舎は、建設から約50年が経過し、想定される津波で倒壊のおそれがあるため、令和元年度から近接地に新庁舎の建設を進め、令和3年2月に完成し、7月から新庁舎において業務を開始しております。

海上輸送拠点である御前崎港の新庁舎は、震災が発生しても防災機能が確保できるよう、基礎を高上げた上で、1階をピロティ形式にすることで、津波に対する安全度を高めるとともに、屋上につながる外階段を設けていることから、御前崎市から津波避難ビルの指定を受けております。

また、積極的に省エネルギー技術を採用した新庁舎は、県内公共施設として初めてZEB認証を取得しております。

※1 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)認証について
設備効率化などの省エネ技術で使うエネルギーを減らし、太陽光などの創エネ技術で使う分のエネルギーを創ることで、建築物のエネルギー消費量を正味(ネット)ゼロにする建築物を認証する制度。



津波対策について

- ・盛土による造成により、L1津波による浸水を防ぐ
- ・L2津波による浸水が想定される1階をピロティ化し、2階床レベルがL2津波よりも高くなるように設計
- ・屋上に港湾関係者等の避難スペース(想定収容人員150人)を確保し、屋外避難階段を整備
- ・L2津波後も事務所機能が維持できるように、執務室を3階に、受変電設備や自家発電機等の設備機器を2階以上に設置

省エネルギー対策の推進

<採用した主な省エネルギー技術>

- ・Low-E複層ガラス
- ・高効率空調機器
- ・排熱回収型換気設備
- ・タスク・アンビエント照明※
- ・照明制御システム

(在室検知制御、明るさ検知制御、タイムスケジュール制御等)

※作業面を明るくする局所(タスク)照明と周辺環境を照らす全体(アンビエント)照明を併用する方式

工事概要	構造・規模	鉄筋コンクリート造、地上3階建、延床面積1,046.25㎡			
	工期	令和2年2月～令和3年2月(約12ヶ月、2月竣工)			
	工事費	約4.8億円(建築、電気設備、機械設備の総額)			
	施設内容	1階:駐車場、ホール 2階:会議室、書庫、災害待機室、受水槽・ポンプ室 3階:所長室、事務室、災害対策室、自家発電機室 ほか			
	設計・監理	企業組合 針谷建築設計事務所			
施工	建築工事:(株)若杉組		電気設備工事:松川電気(株)		機械設備工事:(株)河原崎配管



安全の道しるべ



第35回 袋井地区建設業安全大会 7月1日(木)

於:袋井建設業会館2階大会議室/47名参加



■優良事業場賞受賞者

(株)小原組 (株)山田
(株)ヤマグチ 倉見建設(株)

■安全標語・けんせつ川柳入賞作品

【優秀賞】 塚本 明佳里 丸明建設(株)

「まさか」に備え「たしか」な行動 組織で取り組む 安全管理

第58回 全国建設業労働災害防止大会 in 京都

現地開催とオンデマンド配信により、10月7日～8日に開催されました。

■安全衛生表彰受賞者

<功 労 賞> 中山 勝義 中山建設(株)

第48回 静岡県建設業労働災害防止大会

コロナ禍のため、10月22日に予定された大会は開催中止になりました。

■支部長表彰受賞者

<事業場賞> 乗松建設(株)
(株)東栄建設
<功 労 賞> 花嶋 伸昭 倉見建設(株)
西脇 克和 塚本建設(株)
<功 績 賞> 若杉 有城 (株)若杉組

■令和3年度 安全標語・けんせつ川柳入賞作品 優秀賞W受賞!!

標語部門 【優秀賞】 加藤 忠利 (株)藤本組

「これくらい」と思う油断に ひそむ事故 初心に返って 安全確認

川柳部門 【優秀賞】 中根 功 乗松建設(株)

建設業 おとぎ話のような テレワーク

三者合同による官民合同パトロールを実施しました。



実施日 10月19日(火) 参加者8名
磐田労働基準監督署 神原副署長・池田労働基準監督官
袋井土木事務所 牧村検査監
中山主任安全指導者
建災防袋井分会(袋井建協)袋井地区安全指導者4名
実施箇所 袋井・磐田地区(袋井土木事務所発注現場)2箇所



実施日 10月20日(水) 参加者9名
磐田労働基準監督署 工藤安全衛生課長
中遠農林事務所 加藤検査監・倉田検査監・川畑検査監
中山主任安全指導者
建災防袋井分会(袋井建協)小笠地区安全指導者4名
実施箇所 小笠地区(中遠農林事務所発注現場)2箇所

安全指導者研修会 11月4日(木)



今後の安全活動に活かすため、安全委員(建災防安全指導者)を対象に、袋井土木事務所牧村検査監の「令和3年度工事事故防止」安全講話(動画)による安全教育を実施しました。

これい～ね!



河川の水位上昇を知らせるための水位警報装置が設置されている。



架空線に対する注意喚起と対策が両サイドと地上からなされている。



環境表示器を設置して騒音・振動・風速等の測定が常時されている。

すぐ直そう!!



排土板が上げたままになっている。運転者が、運転位置から離れる場合の処置(安衛則第160条)

建設業年末年始労働災害防止強調月間
令和3年12月1日～令和4年1月15日

「無事故の歳末 明るい正月」